

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和3年度) 2021年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	3	12	土	9:00	12:30	太田ヶ谷の森	14
活動名称	太田ヶ谷の森整備					報告者：小沼	

<主な活動内容>

- 小彼岸桜の下草刈り
  - ・春に下草が繁茂する前に除草処理を実施した。
  - ・特に西側道路沿いの下草は繁茂していたが、整備することができた。
- 小彼岸桜の剪定
  - ・伸びていた枝の剪定と切り口への融合剤の塗布を実施した。
- ハンマーナイフによる雑草の駆除
  - ・4月に植樹する予定の蓮池北側の道路沿いをハンマーナイフで草刈りした。
  - ・サッカー場北側の植樹した広場に雑草が繁茂していたのでハンマーナイフで草刈りした。
- 伐採木の玉切り
  - ・ビオトープそばの伐採木が大谷川にまたがって倒れており、子ども達が遊ぶと危ないので玉切りを実施した。
  - ・玉切りしたものは南側の自然林の空き地に運搬し昆虫が住み着く場所として配置した。
- ※ 大谷川の川の中に落ちている倒木は人力では引き上げられなかったため、別途、滑車等で引き上げる予定とした。
- 椅子付テーブルの配置
  - ・シルバー倉庫に制作してあった椅子付テーブル2個を軽トラで運搬し、蓮池南側の大谷川沿いに配置した。
  - ・後日、ブロック8個を敷石としてセットする。

<課題・評価>

- ◎ 小彼岸桜の下草刈りと枝の剪定はこの時期(3月中旬)が望ましく、今後の通年作業として定着させたい。なお、西側道路沿いには西側から南側を周遊できる道路・通路が必要である。
- ◎ 小彼岸桜は59本植樹してあったが、3本は刈払機で切られており、1本は水不足化枯れていたため、4月に補充する。2脚鳥居があっても刈払機での損壊があるので、植樹した場所での草刈りは特に慎重に実施することが必要である。
- ◎ 森への散歩者等に休憩場所として椅子付テーブルを提供することができた。
- ◎ ウッドチップパーの不慣れな操作ミスが故障の要因となるケースがあり、管理法を検討したい。

<参加者>

小嶋、松下、橋本、横手、牛島、内藤、小沢弘、大森、吉井、小澤邦、松本忠、杉山、佐野英、小沼

<活動写真>

◇ 小彼岸桜下草刈りと、剪定



◇ ハンマー作業



◇ 伐採木の玉切り



◇ 椅子付テーブルの設置



◇ 集合写真

